



特集
魅せる、集める、華やぐ
レジャーシーンの
ボタニカルスタイル



1泊100万円の城泊もスタート ユニークベニューでの文化体験と 個別化された特別な「時」を提供

VMG HOTELS&UNIQUE VENUES



建物内部の迫力ある木組みには定評がある大洲城 (写真: 大洲市観光まちづくり課提供)

20 20年4月、日本ではじめての滞在型の城主体験「大洲城キャッスルステイ(仮称)」(愛知県大洲市)が誕生する。

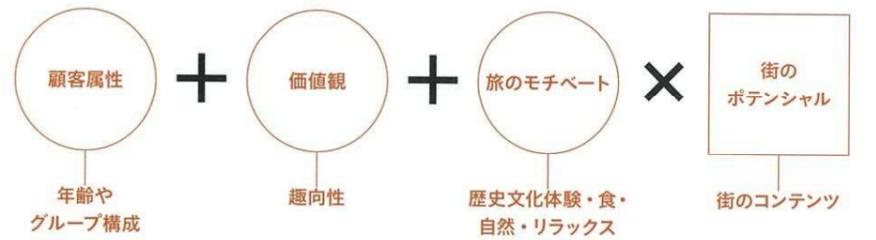
バリューマネジメント(株)が、大洲市、観光まちづくりを推進するDMO(一社)キタ・マネジメントとともに企画運営を手がける。1日1組限定、1泊100万円で、天守閣に宿泊でき、江戸時代の城主である加藤貞泰の入城の再現や、鉄砲隊による演舞、松明や篝

火での演出のほか、扇射抜き、乗馬、座禅などの体験コンテンツを用意する予定だ。

今年10月に実証実験を行なった後、春と秋の年間約30日間の期間限定で、大洲城の観覧時間が終了する17時〜翌9時の時間帯に運営する。

大洲城の歴史は鎌倉時代末期にはじまるとされ、戦国時代以後に、大洲の地を治めた各大名たちの造営を経て近世城郭が整備された。天守は明治期に

■VMGのフレームワーク



この4つを前提として、コンシェルジュが旅の価値を最大化
音声認識により顧客対応をデータベース化
1次対応ではAIで自動化されたプラットフォームを活用し、24時間多言語で対応する
2次対応でスタッフによる究極の個別化した「時」を提案

取り壊されたが、04年に4層4階からなる戦後初の木造天守として復元され、4棟の櫓(台所櫓、高欄櫓、芋綿櫓、三の丸南隅櫓)はいずれも国の重要文化財に指定されている。

これに先立って、バリューマネジメントは、現在運営している「大阪城西の丸庭園 大阪迎賓館」「篠山城下町ホ

テルニIPPONIAなどの宿泊施設やレストランなどの顧客向けブランドとして「VMG HOTELS & UNIQUE VENUES」(VMG)を創設した。

VMGは、文化財・歴史的建造物を活用した類似施設や、ターゲットが重複するラグジュアリーホテルなどの違いとして、「心の豊かさを届ける「時のコンシェルジュ」をブランドプロミスに掲げる。希少価値の高い施設の利用体験のみならず、その土地の人しか知らない情報を提供したり、特別な日の思い出の料理を再現したり、旅の目的や個別のニーズに合わせてコンシェルジュがさまざまな体験価値を追求。ウエディング事業やこれまでの施設運営で培ってきた、一生に一度の特別な「時」の提供をブランド価値として明確化。各施設がもつ個性を活かしつつ、マスターブランドによる水平展開を図っていく考え。アッパーからアッパーミドルクラスをターゲットにし、高単価・高付加価値のサービスを提供していく。

今後、バリューマネジメントでは、広島県竹原市(3棟10室)、福岡県太宰府市(3棟9室)、京都府京都市(2棟12室)、北海道函館市、三重県伊賀市などで、分散型ホテルのオープンを予定している。